

わたしと子供と看護

2024年5月号

7階西病棟 乳腺科



看護師としての私

がんセンターに30年勤務して、多くの方の退院を喜び、また、多くの方を見送らせていただきました。これまで、どのような時でも、満足のいく看護は難しく、日々の業務の忙しさとベッドサイドで時間をかけた看護がしたい。という思いの間でジレンマを感じる事も多くありました。そのような中でも、自分の気持ちを周りに伝え、協力を得て、長い間自分のやりたい看護を続けてこれた事は私の自慢です。そして、そのような人間関係・職場環境に恵まれた事に感謝しています。



私は、現在25歳の長男を筆頭に高1になる次男まで4人の子どもを院内保育所に預けて看護師を続けてきました。育児休業から復帰後、すぐに夜勤業務を再開したので、夫には夜勤の時の保育所の送迎でずっと協力をしてもらっていました。4人の子ども達には、夜いなくて寂しい思いをさせたいと思いますが、その分平日の学校行事や参観には欠かさず出席しました。今日まで4人の子ども達が大病することなく成長してくれたことが、何よりの幸せです。

母としての私



独立行政法人国立病院機構

九州がんセンター

National Hospital Organization Kyushu Cancer Center

看護部